

小波津区内に花を愛でる憩いの場 上原区には放送設備が整いました



小波津区自治会(糸数栄吉会長)はこのほど、宝くじの普及・広報を目的とした(財)自治総合センターの宝くじ助成金を活用し、緑化事業を実施しました。区民が花を鑑賞し散策できる憩いの場所にしようと、小波津集落センターの周辺にサクラ20本、さわぶじ10本等が植樹されました。

同様に、上原自治会(喜納昌盛会長)も一般コミュニティ助成事業を活用し、屋外放送設備を整備しました。喜納会長は「使いやすく、区民の皆さんも喜んで。様々な情報を伝達していきたい」と話していました。

島尻ベースボールクラブが ポニーリーグ大会で優勝



中学生硬式野球のポニーリーグ第24回秋季大会(11月8日~24日)で、島尻ベースボールクラブ(銘苅政幸監督)が優勝しました。部員の9名が西原町出身で占める同クラブは12月1日、町役場を訪れ優勝報告を行いました。西原悠矢キャプテン(西原中)は「練習の成果がでて、優勝できて嬉しい」と喜びを語り、上間町長は「このチームから甲子園球児がでて、将来プロ野球選手が誕生するよう頑張ってください」と激励しました。



町長専用車の処分について これまで町長専用車を所有していましたが、平成20年12月にリース契約解除による処分をおこないました。この車は平成17年にリース契約をおこない、走行距離は3年間で18,809kmの走行でしたが、町では行財政改革を推進しながら歳出の抑制に取り組んでおり、公用車の削減や有効活用も取組みのひとつと考え、処分しております。これからも行政のスリム化をめざし、健全な町政運営に取り組んでまいります。

西原町長 上 間 明

まちの話題

町民文化講座(後期)が始まりました



「文教のまち」にふさわしい町づくりの一環として、琉球大学や沖縄キリスト教学院大学・短期大学から講師を派遣していただき、町民向けにわかりやすい内容で講義し、町民の文化教養の向上と生涯学習の振興を図る「西原町民文化講座」の後期講座が開講しました。第1回の11月13日は、琉大理学部の伊澤雅子教授が「琉球列島の希少動物」と題し講義しました。毎月第2木曜日の午後6時半より、多岐にわたるテーマで講座が開かれますので、お気軽にご参加下さい。お問合せは町立図書館(☎944-4996)まで。

きちんと学ぼう!シックハウス症候群!

自分の身近なところから生活を見直し、化学物質への適切な対処法を身につけよう!「シックハウス症候群~暮らしの中の化学物質と適切につきあう方法~」と題した講演会が11月29日、町中央公民館で開かれ、多くの方が参加しました。講師の北里研究所病院の宮田幹夫医師(写真枠内)は、化学物質の影響や症候群の症状・症例を説明し、「私たちの生活は多くの化学物質に囲まれており、無意識に接触している」と話していました。また、同病院の小沢学看護師は「換気に注意する、ジャンクフードを避け、解毒効果のある食材を食べる、運動や入浴でストレスの発散を心がける」など、症状を軽くする方法を紹介しました。



カレープロジェクト始動!



農業体験により農業への関心を高め、農業の厳しさ・楽しさを実感し、野菜栽培を通して野菜に親しんでもらおうと「農業体験カレープロジェクト」(西原町食と農の推進協議会・町主催)が始まりました。11月22日は親子約40名が参加し、外間正弘JA西原支店長と農家の呉屋盛光さんの指導で、西原キッズ農園の三食畑にジャガイモ、ニンジン、タマネギ、インゲンの植付けをしました。今後は3月の収穫、カレーパーティに向けて、みんなで手入れをしていく予定です。

母国とのかけはしへ

~海外移住者子弟研修生修了式~



7月から半年間、日本語や沖縄の文化芸能を学んだり、企業・学校での実務研修を受けてきた町海外移住者子弟研修生の修了式が12月8日、町中央公民館で行われ、親族や関係者ら多くの方が参加しました。宮里まり子・ピアノ・エベリンさん(アルゼンチン)の琉舞「かぎやで風」で幕開けし、親族による余興や研修生全員による三味線で会場は盛り上がりました。上間町長は「母国に帰ってこの研修の成果を活かし、友好親善のかけはしを担ってほしい」と激励。金城裕味・シルビアさん(ブラジル)は「ホストファミリーはとても親切で楽しかった」と、宮里さんは「あっという間に月日が過ぎて、もっとやりたいことがあった」と名残惜しそうに、小橋川比嘉・パオロさん(ペルー)は「研修は忘れられないかけがえのない体験でした」と上手な日本語で、思い出と感謝を述べました。

芸術の秋を 堪能



「第10回西原町文化祭」の展示部門が11月21日から3日間、町民体育館で開かれました。書道や美術工芸、写真、花卉園芸、華道など約160点の芸術品が一堂に展示され、来場者は芸術の秋を楽しみました。館内には茶道部会による呈茶席も設けられ、抹茶がふるまわれました。

「文教のまち学園」修了式



「平成20年度文教のまち学園」の第10回講座及び修了式が11月26日、町中央公民館で開かれました。脳トレや健康講話、ファッションショーなど多彩な学習プログラム

の最後の講座は、のど自慢大会で盛り上がりました。修了式では、垣花教育長から受講生に修了証書が手渡され、受講生を代表して玉那覇香代子さんが「視野を広げられて大変良かった」と学ぶ楽しさを語っていました。

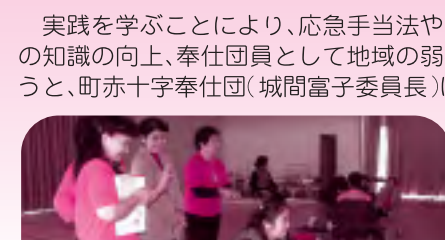
渡久山勇さんが県福祉大会で表彰



「第43回沖縄県身体障害者福祉大会」(11月30日・浦添市)で、渡久山勇さん(宇小波津)が「自立更生」で表彰されました。これは、自らの障害を克服して日常生活

を自立し、身障スポーツ振興への功績が評価されたもの。町身体障害者協会の副会長も務める渡久山さんは、スポーツが得意で、短距離やマラソンでも活躍しており、「(身障スポーツ大会で)次は西原町に優勝旗を持って帰りたい」と話していました。

奉仕団員として実践活動を学ぶ



実践を学ぶことにより、応急手当や自然災害に対する予防の知識の向上、奉仕団員として地域の弱者との共生社会を図ろうと、町赤十字奉仕団(城間富子委員長)は12月8日・9日、研修会を実施しました。8日は、東部消防の職員を講師にむかえ、応急手当として心肺蘇生法を学び、9日は沖縄市防災センターで災害への対応等を研修しました。